

しゅん か しゅう とう
春 夏 秋 冬

《岁时》“情人节”与“纯白日”

这一期《天天好日》寄到大家手头的时候，2月14号的“情人节”已经结束了。

在日本，这一天被看成是“女孩子送巧克力给男孩子，以示爱的表白”的一天。可是，这样的习惯在世界上可谓少数。欧美国家，一般习惯于恋人、朋友、以及家人之间互相赠送贺卡、花儿以及点心。

“情人节”的起源

“情人节”起源于公元3世纪的罗马。当时的皇帝克劳迪乌斯2世为了建设一支强大的军队，竟然禁止士兵们结婚。在那种情形下，基督教司祭瓦伦丁因为背着皇帝为士兵们成婚，而于2月14日那一天被处以死刑。“瓦伦丁节”（情人节）由此而来。之后，2月14日被命名为“圣·瓦伦丁日”，成为罗马天主教会悼念那位司祭之死的纪念日。到了大约十四世纪，演变成在这一天向恋人表白、赠送卡片及交换礼物。

日本“情人节”的变迁

关于日本“情人节”的开端，有着众多的说法。下面两个可信性比较大。

- ① 1936年2月，神户的巧克力厂家“莫罗佐夫”在一家英文报纸上刊登了一条迎接“情人节”的广告。
- ② 1958年2月，东京的巧克力厂家“玛莉”在新宿“伊势丹”百货店，开展“情人节”廉售活动。

1960年，各巧克力制造・销售公司，为了打开巧克力的销路，开始实施“情人节计划”，并进行了广泛的媒体宣传。“情人节”于是广为人知，并在日本扎根发芽。到了上世纪80年代，不仅是关系亲近的人，就连只是面识程度的、以及同工作单位的男士在内，都一道地、大量赠送“礼节性巧克力”的习惯，流行起来。

近几年，这种赠送“礼节性巧克力”的情况，渐渐少了。另外，巧克力以外的各个行业（首饰、餐饮界、饭店等）也不断地实施起“情人节计划”，以图参与到这一场商战中来。

《岁时》「バレンタインデー」と「ホワイトデー」
今号の本誌が皆さんのお手元に届く頃には既に終わっていますが、2月14日は「バレンタインデー」です。

日本では、この日は「女性から男性にチョコレートを送り、愛を告白する日」とされています。しかし、このような習慣は世界的にはごく少数派で、欧米などでは恋人、友人、家族などがお互いにカードを交換し、花束やお菓子などを贈るのが一般的なようです。

「バレンタインデー」の起源

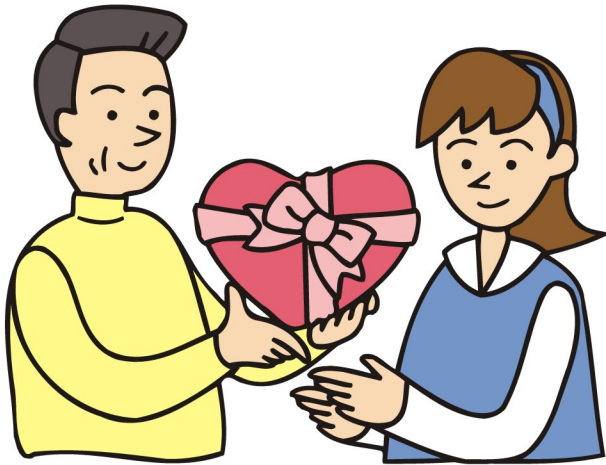
「バレンタインデー」は、西暦3世紀のローマにおいて、皇帝クラウディウス2世が強力な軍隊を作り上げるために兵士の結婚を禁止した状況の下で、キリスト教司祭のバレンタインが密かに兵士たちを結婚させたため、皇帝によって2月14日に処刑されたことに由来します。以来この日は、「聖バレンタインデー」として司祭の死を悼むローマカトリック教会の祭日となりましたが、その後14世紀頃には、恋人たちが愛を告白し、カードや贈り物を交換する日となりました。

日本の「バレンタインデー」の変遷

日本の「バレンタインデー」の始まりについては、いろいろな説がありますが、次の2つが有力です。

- ① 1936年2月、神戸のチョコレート会社「モロゾフ」が英字新聞に「バレンタインデー」に向けたチョコレートの広告を掲載
- ② 1958年2月、東京のチョコレート会社「メリー」が新宿「伊勢丹」で「バレンタインセール」を実施

1960年代になると、チョコレート製造・



“纯白日”

“情人节”过后刚好一个月，也就是 3 月 14 日，为“纯白日”。在日本，这一天是男士们向女孩子回赠糖果，以还“情人节”之礼的日子。

“纯白日”，是由日本“全国糖果工业协同组合”指定的。此工会在 1978 年 6 月的全体大会上，做出了实施“‘纯白日’（3 月 14 日）为糖果日”活动的决定。之后，经过一定期间的准备，1980 年 3 月，此工会关东部会在位于东京的“银座三越”，开展了“第一次‘纯白日’宣传活动”。“纯白日”于是广为人知，直至今天。

这之前，日本人就有在 3 月 14 日回赠“情人节”礼物的习惯，只是在名称上沿用了欧美的“坡比节”以及“花节”等说法。另外，1977 年福岡的点心店“石村万盛堂”给这一天取名为“水果软糖节”，认为“情人节”的回赠物，应该为水果软糖。

近几年，与“情人节”一样，糖果行业以外的各个商家，都在大力施行“纯白节计划”，以免售其商品。



販売各社がチョコレートの販売促進のため、「バレンタイン企画」を実施し大々的なマスコミ宣伝を行うようになり、広く一般に「バレンタインデー」が定着していきました。1980年代には、親しい間柄だけにとどまらず、顔見知りや職場の男性に対して大量にチョコレートを贈る「義理チョコ」という習慣も広まりました。

近年では、この「義理チョコ」はだいぶ廃れてきたようです。また、チョコレート以外の各業界（宝飾、レストラン、ホテルなど）も「バレンタイン企画」を次々と打ち出しています。

「ホワイトデー」

「バレンタインデー」の 1 か月後の 3 月 14 日は「ホワイトデー」で、日本ではこの日に「バレンタインデー」のお返しとして「男性から女性にキャンデーを贈る」こととなっています。

この「ホワイトデー」を制定したのは、日本の「全国飴菓子工業協同組合」です。同組合は、1978年6月の総会で「ホワイトデー（3月14日）はキャンデーの日」との決定を行いました。そして、準備期間を経た1980年3月に同組合関東部会が「第1回ホワイトデーキャンペーン」を東京の「銀座三越」で実施しました。「ホワイトデー」は、その後全国的に広まり、今日に至っています。

なお、「ホワイトデー」と呼ばれるようになる以前にも、3月14日に「バレンタインデー」のお返しを贈ることは既に行われていたが、欧米の習慣にならって「ホビーデー」や「フラワーデー」と呼ばれていました。また、1977年に福岡の菓子店「石村萬盛堂」がこの日を「マシュマロデー」と名付け、「バレンタインデー」のお返しにマシュマロを贈る日」として行いました。

近年では、「バレンタインデー」同様、キャンデー以外の各業界も「ホワイトデー企画」をおおいに売り込んでいます。